

## 「東京医科歯科大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さまへ

臨床解剖学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

**研究課題名**：股関節周囲の筋に関する解剖研究

**東京医科歯科大学医学部倫理委員会承認番号**：第 M2018-044 番

**データ収集期間**：医学部倫理審査委員会承認後から平成 33 年 3 月 31 日まで

### 研究目的：

股関節は体と足をつなぐ唯一の関節であり、体重を支える、歩くなどの場面において大きな役割を担う関節です。重要な機能を担う股関節ですが、変形性股関節症、大腿骨頸部骨折、鼠径部痛症候群などに代表されるように障害の多くみられる関節の一つでもあります。これら障害が生じた際に、股関節構造の正確な理解は外科手術やリハビリテーションのためにも重要です。しかしながら、股関節を支える多くの筋がどのような位置関係をもっているか、個々の筋が骨にどのように付いているかなどの詳細な構造は十分に明らかになってきているとはいえません。私たちは、股関節周囲の筋を詳細に調べることで、股関節に生じる障害の理解に役立つ解剖学的基盤を作りたいと考えています。

### 研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、すべて生前に「東京医科歯科大学献体の会」に入会された方のご遺体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法の精神を遵守して行って参ります。また、研究の実施に当たっては、日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従って行います。

## 研究の内容：

本学臨床解剖学講座にて保存されている解剖体を用いて、股関節周囲筋の筋束や腱構造、骨形態ならびにその栄養血管や支配神経を観察します。また組織標本を作製し、筋がどのように骨に付着しているかの観察を行います。染色方法としては HE 染色に加え EVG 染色、Masson 染色、Toluidine Blue 染色などを行います。また、骨形態の観察のため、マイクロ CT (SMX-100CT、島津製作所)を使用し、大腿骨や骨盤が立体的にどのような構造をしているかを明らかにします。この研究によって、股関節を支える筋の構造が立体的かつ詳細にわかり、障害の原因となる構造の理解が推測できると考えています。

この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を国内外の学会や論文で発表しますが、写真閲覧時に匿名化を行い、解剖体の個人を特定できる情報は使用いたしません。登録解剖体の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定し、連結可能匿名化を行います。参照した画像等は、匿名化の後、臨床解剖学医局にて 10 年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反委員会に申告を行い、承認されています。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学部倫理審査委員会で承認された後、改めて HP 上でお知らせいたします。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

**研究責任者：**東京医科歯科大学大学院 臨床解剖学分野 秋田恵一

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803- 5390 (対応可能時間帯 平日 9:00～17:00)

**苦情・相談窓口：**

東京医科歯科大学医学部総務掛

電話：03-5803-5096 (対応可能時間帯 平日 9:00～17:00)